

「戦後」の意味

アジアにおける1945年とその後

4月11日(土) 開場 8:30

開会挨拶・来賓祝辞 9:00-9:20

基調講演 9:20-10:00

呂芳上(台湾・国史館館長)

二戦後台湾社会的搏成 —「Y」字型共創論的一个解説

I 戦後の意味 10:00-12:00

座長 森 正夫(名古屋大学名誉教授)

◆李明仁(嘉義大学教授)

從地域社会研究看所謂的「戦後」

◆三好 章(愛知大学教授)

村松祐次の中国論 —『中国經濟の社会態制』について

◆楊彦杰(福建社会科学院研究員)

1945年前後許寿裳对日本的認識

◆許雪姬(中央研究院台湾史研究所研究員)

戦後台湾人「脱日入中」的転折

◆加納寛(愛知大学教授)

戦時期日本のタイ語プロパガンダ誌

II 戦後の言説 13:20-15:00

座長 安部 悟(愛知大学教授)

◆李晓紅(廈門大学人文学院副院長) / 林 豪(廈門大学人文学院博士課程)

上海・電影・一九四七

◆李有成(中央研究院政美研究所研究員)

歴史的鬼魅 — 李永平小説中の戦争記憶

◆林雪星(東呉大学副教授)

有関広島與長崎的核爆言説

◆NGUYEN Tuan Cuong(阮俊強)(ベトナム社会科学院漢喃研究院副院長)

The Confucian Relationship between Vietnam and Taiwan during the Cold War: On Kong Decheng's Visit to South Vietnam in 1958

III 戦後と文学 15:20-17:00

座長 松浦恆雄(大阪市立大学教授)

◆張 羽(廈門大学文学所所長)

光復後台湾與東北地区的文壇重建研究

◆鍾正道(東呉大学中文系副教授兼系主任)

惘惘的威脅 — 張愛玲筆下的二次大戰

◆張業松(復旦大学教授・神戸大学特任教授)

1954, 路翎的抗議

◆張学昕(遼寧師範大学教授)

1980年代以来“抗戰小説”的叙事倫理

— 以全勇先的《昭和十八年》和《白太陽紅太陽》為中心

4月12日(日) 開場 8:30

基調講演 9:00-10:10

Ping-hui LIAO(廖炳惠)(カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)

Watching KANO with the Director

IV 国家と民族 10:10-12:10

座長 加々美光行(愛知大学名誉教授)

◆加々美光行(愛知大学名誉教授)

中国の国家と民族論争 — 中華民族復興論と民族政策の動揺

◆松岡正子(愛知大学教授)

中国エスニックマイノリティの選択

— 四川のチャン族における母語の喪失と復活への試み

◆塚田誠之(国立民族学博物館教授)

中国広西の壮族とベトナム民族との交流の70年

◆奈倉京子(静岡県立大学講師)

華僑・華人から国家・民族を問い直す

◆何撒娜(東呉大学助理教授)

戦後東亜文化国族主義的發展

V 戦後のジェンダー 13:30-15:10

座長 星野幸代(名古屋大学教授)

◆垣原智子(名古屋大学大学院助教)

大迫倫子と楊千鶴の作品に読む植民地時期と戦後のジェンダー構築

◆小笠原 淳(熊本学園大学講師)

坂口禔子的1945体験及其戦後写作

— 一個「蕃地」作家对台湾山地的懷旧與罪感

◆野村鮎子(奈良女子大学教授)

奈良女高師留学生にとってのアジアの「戦後」

◆大平幸代(奈良女子大学准教授)

ある満洲国女子留学生の「戦後」

VI 総合討論 15:30-17:00

座長 馬場 毅(愛知大学名誉教授)

謝政論(東呉大学人文社会学院院長)

[討論者] 馬場毅・加々美光行・李晓紅・許雪姬・李有成

廖炳惠・謝政論

2015年4月11日(土)・12日(日)

愛知大学車道校舎コンベンションホール

地下鉄桜通線車道駅下車すぐ

使用言語=日本語・中国語・英語(通訳あり)

●お申し込み● URL: <http://www.aichi-u.ac.jp> (愛知大学公式ホームページ)

●お問い合わせ● 愛知大学国際問題研究所(担当:加藤・田中)

TEL: 052-564-6121 FAX: 052-564-6221 E-mail: kokken@ml.aichi-u.ac.jp

主催: 愛知大学国際問題研究所 / 台湾・東呉大学人文社会学院 / アメリカ・カリフォルニア大学サンディエゴ校文学系

聴講無料
要申込み



